

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	ごみ収集				事業番号	010-030	
担当部署名	環境	局	環境事業	部	環境業務		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(4) 4Rに根差した循環型社会の形成		
			有	取組の方向性	①4Rの推進とごみの適正処理体制の確保					
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量					
			有	現状値	643 g (2019年度)		目標値	628 g (2025年度)		
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール②つくる責任つかう責任		ターゲット	12.2,12.5		
			有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量					
			有	現状値	617g(2022年度)		目標値	628g(2025年)		
2	関連計画			堺市一般廃棄物処理基本計画、堺市一般廃棄物処理実施計画						
3	事業開始年度			昭和 34 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠			廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	市民、市内事業者	対象数	単位
			31,989 808,404	事業所 人
7	事業の目的	家庭ごみ及び事業系一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないよう収集運搬を行う。また、家庭ごみのうち、資源化が可能なごみを分別して収集運搬することにより循環型社会の構築に寄与する。		
8	事業内容	・「家庭系ごみ」については、「生活ごみ」(週2回)の計画収集をはじめ、「粗大ごみ」や家庭の引越し等による「臨時のごみ」(申込)の有料収集を実施。 ・資源化が可能な「ペットボトル」「缶・びん」は月2回、「プラスチック製容器包装」は週1回、「小型金属」は月1回、それぞれ収集を行い、また令和7年7月1日から、資源ごみ等の持ち去り行為を禁止する条例を施行し、資源の有効利用を図る。 ・「事業系ごみ」については、継続のごみ(申込・週6回)もしくは臨時のごみ(申込)の有料収集を実施。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	収集運搬業務委託業者		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	資源ごみ収集量	t		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	14,130	14,030	14,172	14,172
			実績値	12,367	11,971		
			達成率	88%	85%		
当該指標を選定した理由	循環型社会の構築をめざす中で、各種リサイクル法が整備されごみ行政が新たな方向性で進む上で、本市のリサイクル率についても向上させる必要があるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	目標は、一般廃棄物処理基本計画策定ベースによる推計値 ※資源は全市的に収集している缶・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属を設定						
12	活動指標	単位		実績		目標	
	不適正排出する集合住宅やステーション等への啓発案件数	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	70	50	40	
			実績値	45	30		
			達成率	136%	140%		
	当該指標を選定した理由	不適正排出を是正することで分別が促進され、資源ごみ回収量やリサイクル率の向上に繋がるため。（令和5年度に新たに目標値を設定）					
目標値の設定根拠・算出方法	迅速かつ適正な収集の維持・向上に向けては、排出段階での協力が不可欠であることから、市民から不適正排出に関する相談を受けた際に周辺地域への周知を行う。通報があったものに迅速に対応することを目標とする。						

令和7年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	ごみ収集	事業番号	010-030
-------	------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	5,346,537	5,391,042	5,504,726	5,444,570	5,842,797
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	462,432	463,292	456,785	414,951	422,136
	一般財源	4,884,105	4,927,750	5,047,941	5,029,619	5,420,661
14	人件費（b）	88,600	91,250	91,150	90,250	94,800
15	年間経費（c）=(a)+(b)	5,435,137	5,482,292	5,595,876	5,534,820	5,937,597

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	廃棄物処理・運搬等委託料	決算		5,321,381	4,906,430	消耗品費	決算		360	360
		予算		5,700,161	5,291,061		予算		320	320
	情報システム開発・運用・保守委託料（IT経費）	決算		96,957	96,957	通信運搬費	決算		527	527
		予算		101,461	101,461		予算		850	850
	各業務委託料（その他）	決算		16,028	16,028	パンチ入力・事後処理・ファイリング等委託料	決算		816	816
		予算		28,868	15,832		予算		990	990
	印刷製本費	決算		5,880	5,880	物品等修繕料	決算		490	490
		予算		6,027	6,027		予算		395	395
	会計年度任用職員報酬	決算		1,648	1,648	その他（旅費など）	決算		483	483
		予算		2,567	2,567		予算		1,158	1,158

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 資源ごみ収集量	t	12,367	11,971
	② 上記①にかかる年間経費	千円	1,474,858	1,476,860
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	119,258	123,372
算出についての説明等		資源ごみ収集量は、工場への搬入量の合計である。年間経費は、資源・小型金属の委託料の合計である。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	資源ごみ収集量の実績は僅かながら減少しているが、おおむね前年度と同等の実績となり、令和6年度の達成度は85%となった。なお、資源ごみ収集量の減少に加え、入札により収集運搬に係る委託料が増加したため、単位当たり経費は若干上昇している。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	一般廃棄物を迅速かつ安定的に収集運搬することにより、市民及び事業者の生活環境の保全上支障がないように必要な措置を講じた。市民及び事業者に対して、ごみの正しい分け方や出し方の周知を継続し、その意識の高揚を図ることが基本計画等のKPIに掲げる家庭系ごみ排出量の減少に寄与すると考える。
----	--